

文章をマンガに自動変換する AI サービスの開発

— 次世代型ペイントツール —

1. 背景

日本が誇るマンガは、その独自性と質の高さで世界中のファンを魅了してきた。しかし、漫画家になるためのハードルは依然として非常に高い。優れた作画技術、巧みなストーリーテリング、繊細な演出力、そしてマーケティング力が必要とされる上に、膨大な時間と努力、下積みが求められる。これらすべてを兼ね備えた漫画家はごくわずかである。

2. 目的

上記背景の状況を変え、誰もが自分のアイデアをマンガという形で表現できる世界の実現を目指す。その鍵となるのが、最先端の生成 AI 技術である。本プロジェクトでは、Large Language Models (LLM) と画像生成 AI の融合により、文章や下書きから高品質なマンガを自動生成できるクラウドサービスを開発する。このサービスは、マンガ制作において不足しがちな作画・コマ構成スキルを自動生成でサポートし、全ての人にマンガ創作の可能性を広げる。

3. 製品・サービスの内容

「マジנסタジオ」とは、Web ブラウザ上で動作する AI ペイントツール（図 1）である。

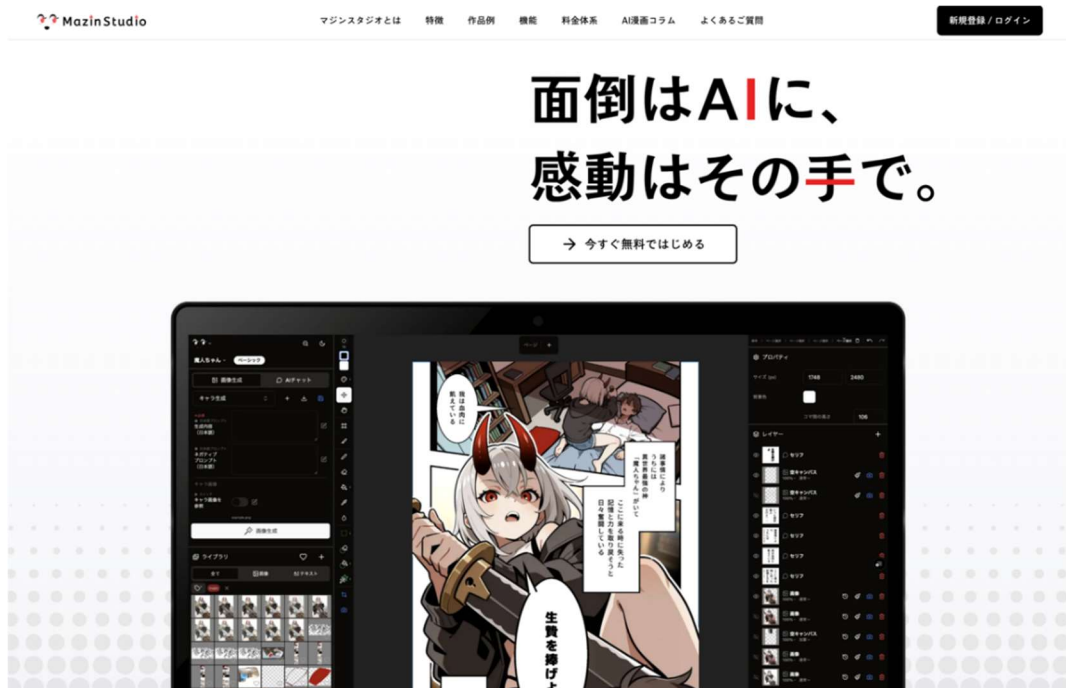


図 1 「マジנסタジオ」 <https://mazin-studio.com/top/>

マジンスタジオを使う上で画力は必要ない。必要なものはアイデアとプロデュース力。もちろん絵心はあるに越したことはない。以下にマジンスタジオを使って AI とヒトが共創する例を挙げる。



図2 下絵を元に AI＝画像生成で清書や仕上げをするフロー

（図2）は下絵を元に AI＝画像生成で清書するマジンスタジオで最も基本的な制作フローである。ユーザーは雑な下絵を入れるだけで AI が自動で意図を読み取り仕上げてくれるのだ。一発で意図通りの仕上がりになることは少ないが、再度修正して、その後 AI に仕上げを依頼し、出力をまた修正して AI に投げる。そうして求める内容・品質までブラッシュアップさせていくのだ。このフローは「ブラッシュアップループ」と私が呼んでいる。

従来の制作方法が「下書き→ペン入れ→バケツ着色→影入れ→ハイライト入れ→仕上げ」などのように各フェーズを丁寧に完成まで描くのに対して、画像生成を使った制作は途中の工程を飛ばして一気に完成まで持っていく、そこから品質を徐々に上げていく方式である。これはソフトウェアの開発に例えるとそれぞれ従来の手書きがウォーターフォール方式であり、画像生成がアジャイル方式であると言える。

4. 新規性・優位性

目標品質を同じとするなら従来の手書きの 70%~40%程度に工数を抑えることができる。制約や品質要件が緩ければ緩いほど高い効率化が可能だ。作画工程のみの効率化ではあるが、作画工程は全体工程のうち 7 割ほどのシェアを占めるので全体で見ても 2、3 割の工数削減が可能である。このコストカット率は制作原価が高額でシビアな Webtoon 制作において非常に重要になる。

5. 事業普及（または活用）の見通し

シェアを取れる理由は大きく二つある。一つは「不可逆」であること。これは一度 AI による制作に慣れると既存の手描きが非常に面倒に感じてしまう。背景作画やモブ作画において、この不可逆な変化はプロの間でも起きている。「面倒」という最も強力な逆止弁を味方につける。

もう一つの理由は「イノベーションのジレンマ」である。既存の大手ペイントツールは AI の導入を軒並みユーザーに阻止されている。ここ数年は特に AI 否定派による SNS での炎上が目立ち、レピュテーションリスクの大きい大手であればあるほど参入できずにいる。炎上による参入障壁がある今後 3 年の間に、マジンスタジオで次世代ペイントツールとしてポジションを確実なものにしていく。

オープンベータの募集を X でポストしたところ、1,200 名ほどのユーザーの方に登録していただいた。割合は上から AI 漫画家 18.2%、漫画家 14.3%、AI エンジニア 13.8%という構成となっていて、プロの方も含めて幅広い職業のユーザーが集まった。

職業

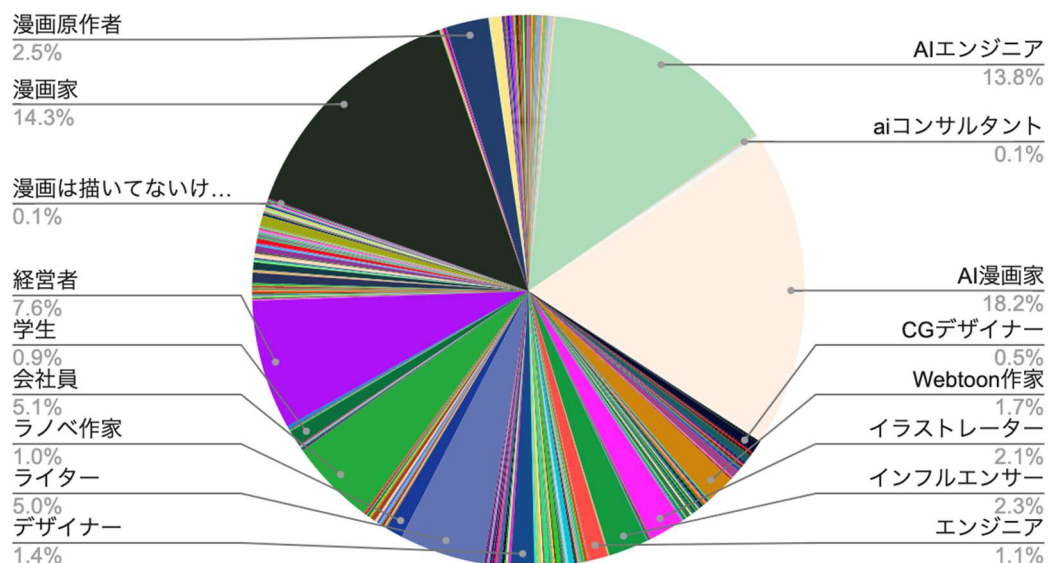


図3 ウェイティングユーザー職業比率

6. 期待される波及効果

工数削減によりプロによる漫画の生産量が単純計算で従来の 1.5 倍程度に増える。また、今まで商業レベルの絵が描けなくて諦めていた層が新規参入することで、漫画家・Webtoon 作家の数が急増する。今回のウェイティングリストにおける商業漫画家の割合が 15%であり、最大で 7 倍程度に増えるキャパシティがあると想定できる。つまり、生産量の向上と合わせて供給量を 10 倍以上に押し上げる可能性を秘めている。マーケットニーズに対して供給が足りてない現状から鑑みると大きな波及効果が期待できる。

7. イノベータ名（所属）

比留間 大地（フリーランス）

<https://mazin-studio.com>